

みずほCustomer Desk Report 2018/11/28 号 (As of 2018/11/27)

国際為替部 為替営業第二チーム

[昨日の市況概要]

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	113.47
TKY 9:00AM	113.50	1.1334	128.66	GBP/USD	AUD/USD
SYD-NY High	113.84	1.1343	128.84	1.2811	0.7224
SYD-NY Low	113.42	1.1277	128.38	1.2820	0.7269
NY 5:00 PM	113.77	1.1289	128.54	1.2725	0.7199
				1.2750	0.7226

NY DOW	24,748.73	108.49	日本2年債	-0.1400	1.00bp
NASDAQ	7,082.70	0.85	日本10年債	0.0900	1.00bp
S&P	2,682.17	8.72	米国2年債	2.8330	0.06bp
日経平均	21,952.40	140.40	米国5年債	2.8893	0.17bp
TOPIX	1,644.16	11.96	米国10年債	3.0581	0.00bp
シカゴ日経先物	22,095.00	40.00	独10年債	0.3490	▲1.10bp
ロンドンFT	7,016.85	▲19.15	英10年債	1.3905	▲1.70bp
DAX	11,309.11	▲45.61	豪10年債	2.6330	▲0.65bp
ハンセン指数	26,331.96	▲44.22	USDJPY 1M Vol	6.48	▲0.13%
上海総合	2,574.68	▲1.13	USDJPY 3M Vol	6.98	▲0.02%
NY金	1,213.40	▲9.00	USDJPY 6M Vol	7.46	▲0.09%
WTI	51.56	▲0.07	USDJPY 1M 25RR	-0.80	Yen Call Over
CRB指数	179.92	▲0.38	EURJPY 3M Vol	8.58	▲0.03%
ドルインデックス	97.36	0.29	EURJPY 6M Vol	8.99	▲0.04%

東京	東京時間のドル円は113.50レベルでオープン。明け方にトランプ大統領が「中国に対して関税引き上げを予定通り実施する可能性が高い」、「中国の要請を受け入れる可能性は非常に低い」との認識を示したことで、東京時間朝方のドル円は上値を抑えられる展開に。しかしながら、その後は堅調な日経平均株価の推移を背景にドル円は113.50付近を底堅く推移し、113.48レベルで海外市場に渡った。
ロンドン	ロンドン時間のドル円は113.48レベルでオープン。材料難から欧州時間は動意薄で113.47-66での小幅推移。全般的なドル買い合いの中で直近高値圏での推移が続く113.59レベルでNYに渡った。オンドドルは1.2808レベルでオープン。トランプ大統領が現行のブレグジット合意案は米英の取引を阻害すると警告したと報じられる中でオンドは上値の重い値動き。英議会でブレグジット合意案の採決が来月11日と決まり、メイ首相が本日から英国中を説得して回るツアーに出発したとの話にも反応なく一時1.2734まで下落。結局1.2757レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	NY時間のドル円は113.59レベルでオープン。朝方は、米国の対中関税対象にスマートフォン等が含まれることが示唆されたことが嫌気されたためか、IT・ハイテク株の下落に連れ安となり、ダウ平均の下げ幅が200ドルを超える場面でも113.48をつける。しかし、大手ネット小売業がサイバーマンデーで注文受付数が過去最多となる見通しのヘッドラインから米年末商戦への期待感が強まる中、米株が下げ幅を縮小する動きに113.84まで上昇。午後はドル買いが一服し、113.70近辺で推移。ケロー米NEC委員長の「12月1日に米中首脳会談を予定。協議の成果に期待するが、追加関税の用意もある」との発言に再び113.83まで上振れるが、結局、113.77レベルでクローズ。一方、英政府とEUの間でブレグジットの合意がされたものの、英議会で採決をめぐる不透明感から、海外市場の1-0ドルは上値重く推移し、1.1328レベルでNYオープン。朝方はトランプ大統領が今週のG20首脳会談後に自動車関税を発動する可能性があるとのヘッドラインから1-0の上値は重く、1.13台を割り込み1.1291まで下落。その後1.1310まで戻す場面もみられたが、長くは続かず反落し、1.1277まで安値を切り下げる。午後は一時的に1.1301まで戻す場面も見られたが、1.1290付近で小動きとなり、1.1289レベルでクローズ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなされるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨を申し出ください。

担当：濱・森谷

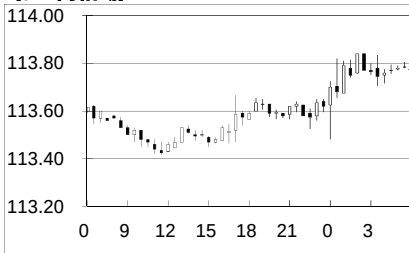
[昨日の指標等]

Date	Time	Event	結果	予想
11月27日	22:30	米 クラリダFRB副議長 「金利は中立水準により近付いている」		
11月28日	00:00	米 消費者信頼感指数 11月	135.7	135.7
		米 ブラード・セントルイス連銀総裁 「来年以降、現在のペースで利上げを継続するのは厳しい」		

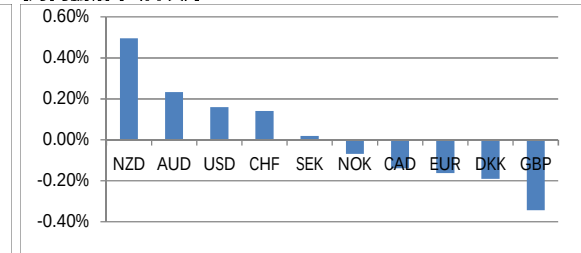
[本日の予定]

Date	Time	Event	予想	前回
11月28日	22:30	米 卸売在庫(前月比)	10月 0.4%	0.4%
	22:30	米 GDP(年率/前期比)・二次速報	3Q 3.5%	3.5%
11月29日	00:00	米 新住宅販売件数	10月 575k	553k
	00:00	米 リッチモンド連銀製造業景況指数	11月 15	15
	02:00	米 パウエルFRB議長講演	-	-

[ドル円相場]



[対円騰落率(日次)]



[予想レンジ]

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	113.50-114.50	1.1220-1.1350	128.00-129.00

[マーケットインプレッション]

前日海外市場のドル円相場は上昇。FRBのクラリダ副議長が漸進的な利上げは適切だとの認識を示したことを受け米金利が上昇したことに加え、クロー米国家経済会議委員長から、G20の開催に合わせフェノスアイレスで米中首脳会談が実施されることが示された上でトランプ大統領が楽観視している様子が伝えられると、リスクセンチメントが改善し、リスク資産が全般に買い戻される展開となると、こちらもドル円をサポート、113円台後半まで上伸する展開となった。本日のドル円相場も米中貿易摩擦の緩和期待と米金利の底堅い推移を背景に、堅調な地合を想定したい。